

「この人 79」

細川岩男 70歳 埼玉県

編集部 俳句を始められたきっかけは？

大 澤 宝石、貴金属の卸、小売をしておりました。商品のキャッチコピーを考え、広告に出していました。六十九歳でリタイア後、俳句、川柳、短歌を始めました。本を読むのも好きですので、言葉を知ることや考える事は好きなんですね。

編集部 滑稽俳句を始められたきっかけは？

細 川 いろいろな賞に応募していて、滑稽俳句大賞を知り、応募したのがきっかけです。川柳に似て、面白いと思いました。

編集部 滑稽俳句の魅力とは？

細 川 肩が凝らないのがいいですね。

編集部 俳句における「滑稽」とは？

細 川 一言で言えば、「ユーモア」です。

編集部 滑稽俳句を続けていて良かった事は？

細 川 言葉がふくらむと言うんでしょうか、ほんわかとするんですよね。縛りがなくて、温か味があって、気持ちがほぐれます。

編集部 滑稽俳句を作るコツは何かでしょうか。

細 川 うーん。それは解りませんね。意図して作ってなくて、ふっと浮かぶんです。

【代表句】

世は正に饑餓の時代くりすます
聖夜とはこんなものと静夜なり
目出たいと極楽とんぼの初詣
あゝ無情レミゼラブルで福袋
我れ先に勢い無駄に福袋